

ようこそ、柏レイソルアライアンスアカデミー長生へ

Ｊクラブへの橋渡しの存在へ



Kashiwa Reysol Alliance Academy Chosei – Season 2022

Player/Parent Handbook

ようこそ、柏レイソルアライアンスアカデミー長生へ

Jクラブ入団への夢を叶えよう！

私たちは、皆さんの新しい旅立ちに幸運があることを願いつつ、それぞれのサッカー人生に寄り添っていきます。

このハンドブックは柏レイソル AA 長生の紹介と、組織の仕組み、規約、ガイドラインといった情報を皆さんに提供するものです。

I【アカデミーパフォーマンスプラン】

- (1) スタッフ
- (2) 組織構造(各責任者)
- (3) 柏レイソルアライアンスグループ組織(本クラブ組織)
- (4) 進路
- (5) 育成
- (6) 個人、チーム育成プログラム内容
- (7) 主な大会
- (8) 平日スケジュール

II【規約】

III【セーフガーディングポリシー】

- (1) はじめに
- (2) FIFAによるサッカーにおける子供達の安全保護の5つの原則
- (3) JFA サッカーファミリー安全保護宣言
- (4) 行動規範
 - I、スタッフ行動規範
 - II、選手行動規範
 - III、保護者行動規範
- (5) 試合と練習に関するガイドライン
- (6) 遠征の計画と実施に関するガイドライン
- (7) 活動における移動に関するガイドライン
- (8) ソーシャルメディアの利用について
- (9) その他相談窓口
- (10) 用具
- (11) バス利用
- (12) グループ LINE について
- (13) カネイ総合グラウンドに関するガイドライン
- (14) 各グラウンドからの緊急避難場所に関するガイドライン
- (15) 普通救命(AED心肺蘇生法、気道異物除去法、止血法)について
- (16) 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について

フィロソフィー

アカデミー理念

Vision

- ・地域に愛されるクラブ
- ・愛されるチーム
- ・愛される選手
- ・愛される人

を目指す！

目的

Mission

柏レイソルなどJクラブへの多くの選手輩出を目指す。更にはその選手たちが世界へ羽ばたき、世界で活躍できるような育成プランを提供する。

価値観・行動指針

Mission Statement

クラブに関わるすべての人が Players First を心掛け、サッカーを楽しむ環境づくり、チームや仲間を大切にする環境づくりを最優先する。

I 【アカデミーパフォーマンスプラン】

(1) スタッフ

ディレクター 鈴木善雄

Jrユース総括/U-15 金子慎二

U-14 鈴木善雄

U-13 藤岡計俊

U-12 鈴木善雄/木島大輔

U-11 八木秀尚

U-10 菊地佑介

U-9 八木秀尚

U-7,8A 菊地佑介

スクール 八木秀尚

スクールアシスタント 押尾大樹、大岩聖

キッズスクール 鈴木善雄

GK 清水凱、柳橋信哉、大附純之介

全サポート 木島大輔

(2) 組織構造(各責任者)

代表 木島大輔

ディレクター 鈴木善雄

ジュニアユース総括 金子慎二

ジュニア総括 菊地佑介

スクール総括 八木秀尚

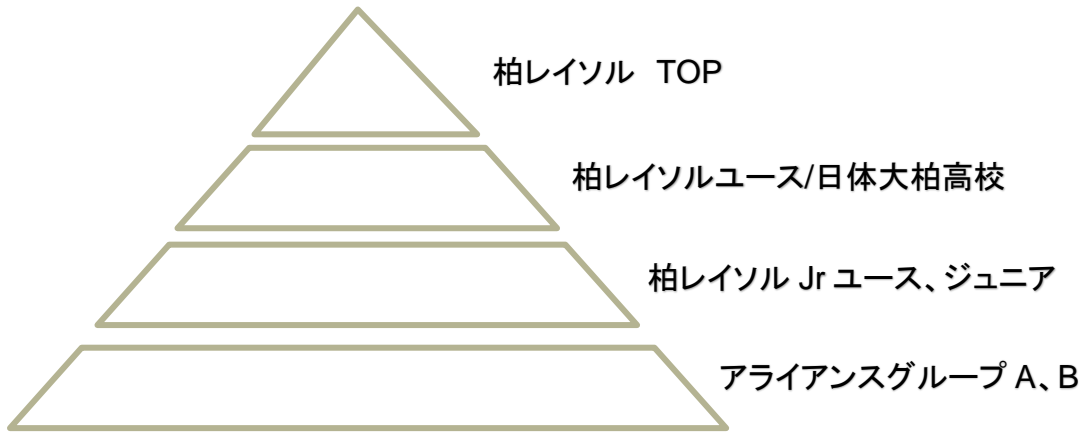
バス管理責任者 金子慎二、八木秀尚

施設責任者 菊地佑介、藤岡計俊

物販管理責任者 鈴木善雄

ホームページ責任者 藤岡計俊

(3) 柏レイソルアライアンスグループ組織(本クラブ組織)



アライアンスグループは主に A、B グループに分類されており、本クラブは A グループとなります。

アライアンスグループ(A)

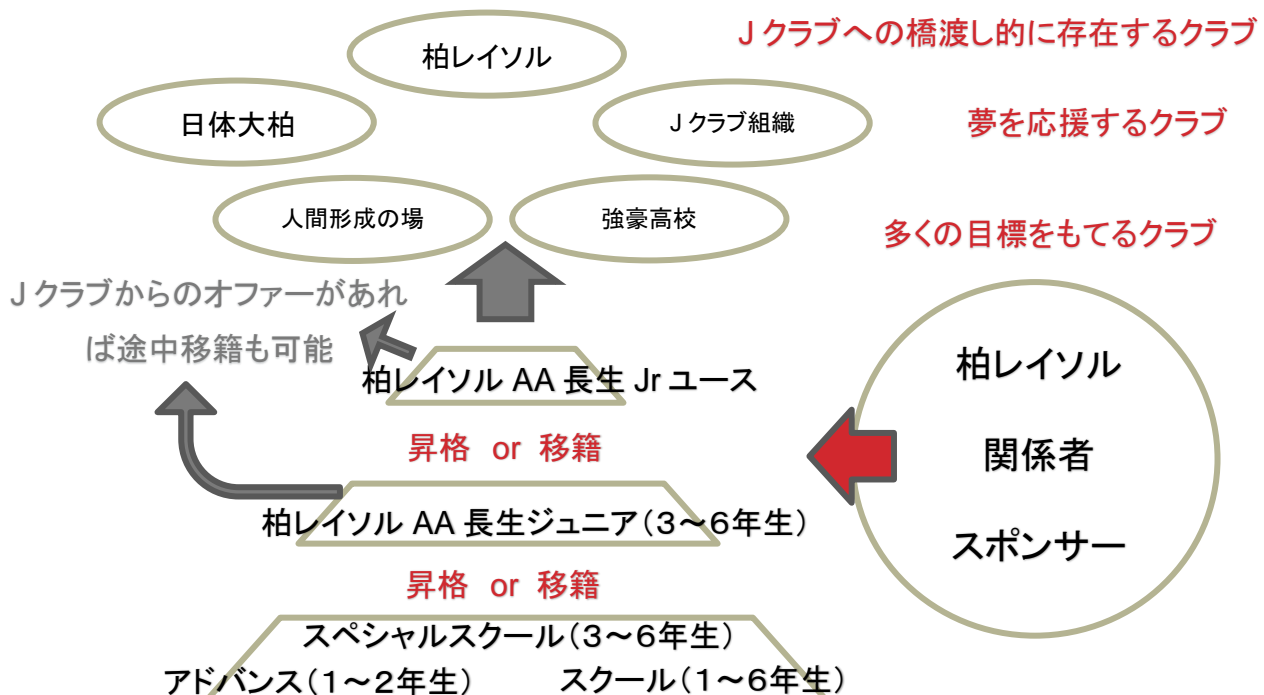
柏レイソル AATOR82、柏レイソル AA 野田、柏レイソル AA 流山、柏レイソル AA 長生

アライアンスグループ(B)

FC アクティブ、FC ゼーレ、ヴィスポ柏 99FC、柏エフォート FC、柏マイティーFC、柏ラッセル FC、
風早レクト FC、カナリーニョ FC

柏レイソル AA 長生組織

本クラブ組織として柏レイソル(本部)は勿論ですがアライアンスグループなど様々な人の協力があり、チームが成り立っております。2022 年シーズンよりスポンサー募集を実施し、更に多くの人携わるクラブとなり、選手の環境改善をサポートします。本クラブのエンブレムに誇りと感謝をもちましょう！



(4) 進路

1) Jクラブ移籍状況

鬼島和希	柏レイソル U-18
金網飛虎	柏レイソル U-12
早川瑠偉	柏レイソル U-12
山田葵士	柏レイソル U-15
渡邊拓海	ジェフ市原千葉 U-15
白井亮	鹿島アントラーズ U-18
奥田陽琉	柏レイソル U-18
根本健太	ジェフ市原千葉 U-15
山本龍之介	ジェフ市原千葉 U-15
井上圭	横浜 FC U-18
根本颯斗	ジェフ市原千葉 U-15
大和久悠真	ジェフ市原千葉 U-15
藤井サリュウ	ジェフ市原千葉 U-15
木原駿	ジェフ市原千葉 U-15
鶴岡廉扇	ジェフ市原千葉 U-12
郡山朔	鹿島アントラーズジュニア
錦織佐丞	ジェフ市原千葉 U-12
高橋央丞	ジェフ市原千葉 U-12

2) 主な高校進学状況

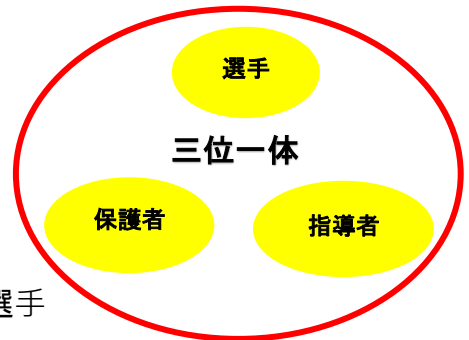
青森山田高等学校	木更津総合高等学校
尚志高等学校	千葉敬愛高等学校
日本文理高等学校	千葉敬愛学園高等学校
矢坂中央高等学校	千葉明德高等学校
学校法人神村学園高等部	渋谷教育学園高等学校
船橋市立船橋高等学校	東京学館高等学校
日本体育大学柏高等学校	千葉東高等学校
習志野市立習志野高等学校	暁星国際高等学校
昌平高等学校	東海大学付属市原望洋高等学校
瀬戸内高等学校	東海大学付属浦安高等学校
淡路高等学校	市原中央高等学校
群馬育英学園 前橋育英高等学校	千葉黎明高等学校
上田西高等学校	土気高等学校
鹿島学園高等学校	長生高等学校
水戸葵陵高校	検見川高等学校
帝京大学系属帝京高等学校	幕張総合高校
帝京長岡高等学校	

(5) 育成

『三位一体で育成』

- ・柏レイソル/Jクラブ/日本代表/世界の軸となる選手育成
- ・各年代でJクラブセレクション合格できる選手育成
- ・社会に貢献できる選手育成
- ・選手が高いパフォーマンスを発揮できるように三位一体で選手育成
 - 1 「選手」は活動に集中し、短期目標、長期目標の達成を目指す。
 - 2 「指導者」はクラブの目指す指導者像により近づけるように努力する。
 - 3 「保護者」は食事、睡眠、休息などご家庭での過ごし方など「選手の身体の成長」「選手の心の成長」についてしっかりサポートする。

それぞれの役割の効果は選手のパフォーマンスへつながる！



- 自律** 自分の意志・判断で行動できる選手
- 適応力** 多様なゲームモデルに適応し能力を発揮出来る選手
- 個性** 自分の力・特長をチームの為に献身的に発揮できる選手

(6) 個人/チーム育成プラン内容

個人育成 選手カルテを使用して短期、中期、長期目標設定。アクションプランを選手が主体性を持ち担当コーチと一緒に作成します。

チーム育成 2022年シーズン4月に各担当スタッフより長期、中期、短期目標についてご相談致します。

IV チームコンセプト

攻守においてオファザボール時「相手に脅を与えないスピーディーな準備」
ボール・スペース・時間を支配して主導権を握るサッカー

チームの勝利
チームの成長
チームの楽しさ

ミスは自分の責任にできる選手
走りから記憶される選手 創造力 達成力豊かな選手
アイデンティティな選手
クリエイティブな選手
ゴールキープを發揮できる選手
チームをリズベクトできる選手
アツで楽しい選手
責任、礼儀など人として敬服できる選手
高の合や仲間と共に成長し勝利を目指す選手
飽了するプレー、状況判断が得た「眼」をもった選手
チームに感謝や誇りに思う選手

V チームモデル

プレースタイル プレースタイルをベースに選手個人としての強弱を軸に選手を配置する

プレースタイル 技術理解・運動能力・メンタリティ

チームを動かす
とき 攻撃 守備 → 守備 選手がボールを持って
いるとき 守備 → 攻撃

各ポジションごとの役割と課題 (次ページ参照)

個人育成 チーム育成 グループ育成

ダイナミックな育成 (当該要項)

VI 各ポジションごとの役割と課題

1. 守備から攻撃への移行
2. 守備から攻撃への移行の準備(守備から攻撃への移行)
3. 守備から攻撃への移行の準備(守備から攻撃への移行)
4. 守備から攻撃への移行の準備(守備から攻撃への移行)
5. チームとしての連携(守備から攻撃への移行)
6. 守備から攻撃への移行の準備(守備から攻撃への移行)
7. 守備から攻撃への移行の準備(守備から攻撃への移行)
8. 守備から攻撃への移行の準備(守備から攻撃への移行)
9. 守備から攻撃への移行の準備(守備から攻撃への移行)

(7) 主な大会

【U-15】

千葉日報杯千葉県ユース U-15 サッカー大会

高円宮杯 JFAU-15 サッカーリーグ

【U-14】

千葉県クラブユース(U-14)サッカーリーグ 上位リーグ所属

【U-13】

千葉県ユース(U-13)サッカーリーグ(2チームエントリー) Aチーム 2部所属 / Bチーム 3部所属

千葉県ユース(U-13)選手権大会(2チームエントリー)

【U-12】

全日本 U-12 サッカー選手権千葉県大会

千葉テレビ旗争奪千葉県少年サッカー選手権大会(2チームエントリー)

U-12サッカーリーグ(2チームエントリー)

Aチーム トップリーグ(千葉県上位10チーム)所属 / Bチーム 2部リーグ所属

【U-11】

千葉県 U-11サッカー選手権大会

アイリスオーヤマプレミアリーグ U-11 1部リーグ(上位10チーム)所属:現在リーグ途中

【U-10】

千葉県 U-10 サッカー選手権大会

アイリスオーヤマプレミアリーグ U-11 3部リーグ所属:現在リーグ途中

【U-9】

千葉県ケーブルテレビ 千葉県 U-9 サッカー選手権大会

千葉 U-9 リーグ7(セブン):現在リーグ途中

【スクール/U-8、7アドバンス/キッズ】

公式戦はございませんがローカル大会参加

(8) 平日スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土・日曜日
U-15	18:30~ 20:30		18:30~ 20:30		18:30~ 20:30	トレーニング 試合
U-14	18:30~ 20:30		18:30~ 20:30		18:30~ 20:30	トレーニング 試合
U-13A	18:30~ 20:30		18:30~ 20:30		18:30~ 20:30	トレーニング 試合
U-13B	18:30~ 20:30		18:30~ 20:30		18:30~ 20:30	トレーニング 試合
U-12/SP		18:30~ 20:30		18:30~ 20:30		トレーニング 試合
U-11/SP		18:30~ 20:30		18:30~ 20:30		トレーニング 試合
U-10/SP		18:30~ 20:30		18:30~ 20:30		トレーニング 試合
U-9/SP		18:30~ 20:30		18:30~ 20:30		トレーニング 試合
U-8A			18:30~ 20:00		18:30~ 20:00	トレーニング 試合
U-7A			18:30~ 20:00		18:30~ 20:00	トレーニング 試合
U-11,12S		18:30~ 20:30		18:30~ 20:30		
U-9,10S		18:30~ 20:30		18:30~ 20:30		
U-7,8S			18:30~ 20:00		18:30~ 20:00	
キッズ			16:30~ 18:00	16:30~ 18:00		トレーニング 土曜 9:00~
GK	18:30~ 20:30					

※会場はすべてカネイ総合 G になります。雨天時、カネイ体育館。

週末スケジュールについて

- ・Jr ユース、選手コース、アドバンスコースの翌週末スケジュールは日曜日までにお知らせ致します。
- ・週末スケジュールは Sgrum カレンダーをご確認ください。

※週末スケジュール配信が遅い、週末スケジュールがカレンダーに掲載されていないなどのお問い合わせは各カテゴリー担当者、総括、ダイレクターまでお願いします。

Ⅱ 【規約】

第1条 組織と名称

柏レイソルアライアンスアカデミー長生(以下「本クラブ」という)は、長生ライフサポート株式会社が保有するサッカークラブ組織で、15歳以下の育成プログラムを実施する組織であり、名称を「柏レイソルアライアンスアカデミー長生」と称する。

第2条 所在地

本クラブは、千葉県長生郡白子町中里4482番地、同所在の白子ニューシーサイドホテル内に事務所を置く。カネイ総合グラウンド(以下「本施設」という)千葉県長生郡白子町五井1837番地が活動の拠点となる。

第3条 目的

本クラブは、真のスポーツマンとしてのサッカー選手を育成するとともに、サッカーを通じてスポーツへの正しい理解を深め、健全な心身の育成を図り、房総地区及び白子町スポーツ振興に寄与することを目的とする。

第4条 入会資格

- ①本人及び法定代理人(親権者又は後見人)が本クラブの目的に賛同し、本規約その他クラブの諸規則を遵守する旨を誓約すること。
- ②スポーツを行うに適した健康状態であること。
- ③4歳以上中学校3年生(または満15歳)以下の男子であること。

第5条 入会手続

所定の手続きに従い本クラブの入会申込を行う。

第6条 会費等

- ①会員は、次に定める年会費及び月会費等を納入しなければならない。
- ②会員は、本クラブの提携する携帯アプリ「Sgrum」に登録しなければならない。

※Sgrum 登録により月謝納入、ウェア購入、傷害保険加入、クラブからのお知らせなどが利用可能となる。

◎会費について

- ① 年会費納入する。※毎年度3月に納入する。退部の場合は年会費を返還しない。
- ② 月会費 毎月25日に納入。※例)4月分は3月25日に納入(前納制)
- ③ 前項の年会費及び月会費等の金額は、別紙料金表の通りとする。
- ④ 会員が会費等の納入を怠った場合、本クラブは、その会員に対する指導を停止し、またはその会員を退会させることができる。ただし、事前に本クラブの承認を得ているときはこの限りではない。
- ⑤ 指導員への直接の納入はクラブ規則で禁じられております。

◎バス利用料金について

- ① バス利用料金の納入方法は、Sgrum アプリ決算代行サービスによるものとする。
- ② 場所により月額料金が定められ、途中で解約しても返納しない。
- ③ バス利用料金は月謝納入同様の毎月25日に納入。※例)4月分は3月25日に納入(前納制)

・平日バス利用料金(料金表別紙参照)

・土日祝祭日のバス利用料金は以下の通りとする。※Sgrum より都度請求となる。

長生郡市内 200 円 0~129km 以内 500 円 130~139km 以内 600 円

以降 10km 増ごとに+100 円 県外 1000 円

◎ウェア購入費用について

- ① ウェア代金の納入方法は、Sgrum アプリ決算代行サービスによるものとする。
- ② ウェア注文後、10日以内に納入する。
- ③ 会員が会費等の納入を怠った場合、本クラブは、その会員に対する指導を停止し、またはその会員を退会させることができる。ただし、事前に本クラブの承認を得ているときはこの限りではない。

第7条 退会、休会

- ① 退会、休会を希望する者は、退会、休会希望日の属する月までの月会費等を納入する。

※休会、退会届用紙のご提出が必要。

- ② 一旦納入した年会費及び会費は、理由のいかんを問わず返還しない。但し、本クラブがやむを得ない事由に基づくものと認めた場合は、この限りではない。

第8条 臨時休業

- ① 台風、大雪、雷雨などの悪天候。新型コロナウイルスなどの感染症拡大の恐れがある場合。
- ② 災害等により本クラブ通常の活動実施が不可能とクラブが判断し、ある一定期間活動休止した場合、会費等の支払いを免除、又は減額する場合がある。減免額については、活動状況に応じて本クラブにて決定するものとする。

第9条 傷害保険

- ① 会員は、入会時に Sgrum 登録する。登録と同時に以下の補償内容で補償が開始される。
- ② 応急処置後の治療ないし療養に要する費用は、すべて会員の負担とする。但し、入・通院となった場合は、保険の補償対象となる。
- ③ 会員は、練習中や試合中に限らず、負傷した場合は、直ちに本クラブ担当コーチまたはスタッフに報告しなければならない。

- ④ 活動中の補償については、下記の保険補償範囲内です。それ以上の責任は負わないものとする。
- ⑤ 送迎バス乗車までの徒歩、自転車などの事故についても責任は負わないものとする。
- ⑥ 保険補償内容について以下の通りとする。

◎災害補償サービス

けが等による死亡 1000万円、後遺障害 最高1000万円、入院日額 4000円、通院日額 1500円

◎損害補償サービス

けが等による死亡 対人(1名:1億円/1事故:5億円)、対物 最高1000万円

第10条 送迎バス

- ① 本クラブは自動継続の為、送迎利用者は届出をしない限り送迎代金の完納義務を負うものとする。

第11条 兄弟割引

- ① ご兄弟でご入会の場合、毎月の月謝より割引が適用される。
- ② ご兄弟それぞれの月謝代金より割引となる。2人目/20%、3人目/30%・・・(小数第一位切り捨て)
- ③ ご兄弟でご入会の場合、合宿も兄弟割引の対象になる。
 - ・ご兄弟それぞれの合宿費用より割引が適用される。
 - ・ご兄弟それぞれの合宿代金より20%割引となる。
 - ・合宿兄弟割引は3人兄弟以上でも最大20%となる。(小数第一位切り捨て)
- ④ ご兄弟どちらかが休会、退会の場合は翌月より割引適用外となる。
- ⑤ その他で年会費、ユニフォームレンタル代金、ウェア代につきましては適用外になります。

第12条 遵守事項

- ① 会員は、次の事項を遵守しなければならない。
 - ・入会の際に、所定の誓約書に親権者が記名捺印の上、本クラブに提出すること。
 - ・規約及び規則を遵守すること。
 - ・本クラブの指導方針及び各コーチ・スタッフの指示に従うこと。
 - ・本クラブの活動を欠席する場合は、原則として事前に担当コーチに連絡すること。

※活動前日までは Sgrum お休み連絡を利用。当日のお休みはグループ LINE を利用。
- ② 会員が本クラブの活動と関係のないその他の活動(習い事等)を行う場合、事前に担当コーチに連絡、相談すること。

第 13 条 写真等の撮影・掲載

① 選手の写真およびプロフィール、活動での様子を本クラブオフィシャルウェブサイト等に掲載することがあるので掲載を拒否する者は入会時担当コーチに申し出ること。

第 14 条 禁止事項

- ① 会員は、次の各行為を行ってはならない。
- ・本クラブの内部事情・練習内容等を第三者に開示すること。
 - ・本アカデミーの秩序・風紀を乱す行為。
 - ・その他クラブの名誉または利益を害する行為。

第 15 条 活動日数及び期間

- ① 本クラブの活動は、以下の活動日数に基づき実施する。但し、悪天候・交通機関の途絶または練習場及び試合会場の状況等やむを得ない事由が生じた場合には、事前に連絡することにより、変更または休止することもある。
- ・選手コース、ジュニアユース活動日数： 選手の疲労度などを考えた活動日数になります。
 - ・スクールコース活動日数： 週2回コース88日 週1回コース44日
 - ・キッズコース活動日数： 88日

第 16 条 除名

- ① 会員が、次の事項のいずれかに該当した場合は、直ちに除名することができる。
- ・本規約に違反したとき。
 - ・刑罰法規に抵触する行為を行ったとき。
 - ・会費を2ヶ月以上滞納したとき。
 - ・事前に届け出なく1ヶ月以上にわたり練習等活動への参加を怠ったとき。

第 17 条 閉鎖

- ① 本クラブは、社会情勢の変化その他本クラブの継続を困難とする事由が生じた場合は、3ヶ月前に予告することにより無条件に閉鎖することができる。但し、天災地変その他不可抗力により本クラブの継続が不可能となったときは、予告をせず直ちに閉鎖することができる。

第 18 条 事故の責任

- ① 会員は、本クラブにおける活動及び本施設の利用に際しては、コーチ及び施設責任者の指示及び本クラブの諸規則に従って行動するものとし、これらに違背して盗難や傷害その他の事故が発生しても、本クラブ及びコーチ等に対し、何ら損害賠償を請求しない。

第 19 条 コンプライアンス相談窓口

- ① 本クラブは、本クラブ内の活動において、コンプライアンス上の不安や心配等を会員が持ったとき、相談できる窓口を以下の通り定める。

相談窓口：長生ライフサポート(株)〒299-4215 千葉県長生郡白子町中里4482

(電話) 090-6709-2136 担当木島

- ① 相談される会員の秘密は厳守される。会員は相談内容を具体的かつ詳細に伝える。
- ② 通報したことで、相談された会員が一切の不利益な取り扱いを受けることはない。
- ③ 匿名での相談も可能。ただし、その場合には調査結果等の十分な連絡ができないこともある。
- ④ 相談内容に対し、原則として 20 日以内に調査を開始した旨を相談者本人に対し報告を行う。ただし、相談者が匿名の場合はこの限りではない。事実確認の結果、及び是正措置が必要な場合は、その内容につき、相談者本人に回答する。本クラブとして是正措置等が必要な場合は、関係する部署の長に通知し、対策を実施する。

第 20 条 改正及び細則

- ① 本クラブは、必要に応じて、随時本規約を改正することができるとともに、本規約に定めのない事項についての細則を定めることができる。

第 21 条 施行

- ① 本規約は、令和4年4月1日から施行する。
- ② 本規約と抵触または重複する従来の規則及び細則は、本規約の施行と同時に廃止する。

【セーフゲーディングポリシー】

- (1) はじめに本セーフゲーディングポリシーは、国際サッカー連盟(FIFA)が定める FIFA GUARDIANS (FIFA ガーディアンズ)を公益財団 法人日本サッカー協会(JFA)が監訳した日本語版をもとに、Jリーグセーフゲーディングワーキンググループが作成したガイドラインに沿って、柏レイソルアライアンスアカデミー長生版として作成したものです。

本ポリシーの根底にある狙いは、FIFA、JFA、Jリーグが掲げるセーフゲーディングに関する取り組み同様、選手(子どもたち)を守ることによって、柏レイソルアライアンスアカデミーに対する想定されるリスクから、関係する全ての大人たちも含め守っていく取り組みになると考えております。また、スタッフや従業員の行動規範には、クラブが目指す指導者像、コンセプトや活動方針、企業倫理、価値観などにも反することのない、誠実さ、公正さ、信頼される行動を求めるものとなります。まずは、柏レイソルアライアンスアカデミーに関わる選手、スタッフ、保護者で本ポリシーを共有し、遵守していくことにより、将来の宝である子どもたちを守り、サッカーを通じた社会貢献を果たしていきたいと考えております。

(2) FIFA によるサッカーにおける子どもたちの安全保護の 5 原則

- 1) 私たちは、子どもたちの最善の利益のために行動する。子どもの安全な環境を保証することは、子どもたちがサッカーを楽しみ、成長することに対する私たちの約束の一つである。
- 2) 子ども権利条約に基づく子どもの権利を遵守し、促進する。
- 3) この 5 原則及びツールキットの取り組みは、人種、肌の色、民族、国籍、性別、性的指向、障害の有無、言語、宗教、政治的見解、貧富などあらゆるステータスに関係なく、差別されることなく、すべての子どもたちに適用される。
- 4) 子どもセーフゲーディング(安全保護)は、サッカー界における役割や出身国に関係なく、すべての人の責任である。
- 5) 具体的な責任及び役割は各国協会によって定められる。いかなる懸念も、私たちがもっとも大切にす子ども最善の利益に従い、また国内の法律を遵守し、本プログラムが定める手順に沿って早急に報告及び対処する。

(3) JFA サッカーファミリー安全保護宣言

- 1) サッカーにおける暴力・暴言を根絶します。ゼロ・トレランスの実現
- 2) 子どもたちをハラスメントから守ります。
- 3) 子どもたちの健康を守ります。
- 4) 良い指導者の養成と有資格指導者を適正に配置します。
- 5) 暑熱環境下等でのサッカー環境を改善します。
- 6) 年齢・性別・障がい・人種に関係なく、サッカーを楽しめる環境を整備します。

(4) 行動規範

スタッフには、プロフェッショナルな行動、選手の安心確保や練習の実施、活動管理を求められている事を意味し、活動中には一人で選手対応を求められる場合もあります。柏レイソル AA 長生に所属

し働く者またはクラブの代表者として、職務の過程で接触する全ての子どもに注意を払う義務があります。

本クラブは指導員に対して以下の事をもとめております。

- 1) 一貫して高い水準の行動と振る舞い(外見を含む)を示すロールモデルになる。(規律やコミットメント、時間管理)
- 2) 適切で社会的に受け入れられる言葉を常に使用する。
- 3) 常にオープンな環境で作業する。(例:誰にも見えないところでの1対1の対応を避け、秘密のないオープンなコミュニケーションを促進する)
- 4) スポーツ活動の経験を楽しいものにする。公平性を促進し、いじめには徹底した対応を行う。
- 5) 全ての児童や青少年を平等に敬意と尊厳をもって接する。常に児童や青少年の安全を優先する。
- 6) 児童や青少年とは安全で適切な距離を保ち、不必要な身体的接触を避ける。
- 7) 何らかの形の手による/身体接触を伴うサポートが必要な場合は、本人の同意を得てオープンな場所で提供する。
- 8) 身体的接触は、本人が嫌がらないこと、不適切と思わないこと、本人の同意が得られている事が基準である。
- 9) 更衣室でチームやグループを監督がアドバイスや指示をする必要がある場合は、他スタッフと複数人で一緒に行く。
- 10) スタッフが選手を送迎する必要がある場合は、親の同意が必要となる。
- 11) 全ての重要な試合の遠征、宿泊を伴う旅行手配などについて、親の同意が必要となる。
- 12) コーチは、怪我の応急処置、AED使用についての知識を持っている。
- 13) 宿泊を伴うアウェイ試合では、大人が選手の部屋に入ったり、選手を自分たちの部屋に入れたりしないようにする。
- 14) 否定的な批判ではなく、常に熱心で建設的なフィードバックを提供する。
- 15) クラブが必要に応じて緊急時の応急処置やその他の医療処置の許可を与えるための書面または電話連絡による親の同意を確保する。
- 16) 発生した事故・事件または負傷の記録を、実行されたアクションと処置の詳細とともに保管する。

I、スタッフの行動規範

スタッフは決して以下のことをすべきではありません。(このリストが全てではありません)

- 1) 選手を他人から遠ざけた状態で、一人で不必要に長時間過ごさせること。

- 2) 選手が使用する更衣室、トイレ、シャワーに単独で入ること。
- 3) 選手を自宅に連れて行き、そこで選手と二人きりになること。
- 4) 選手と部屋を共有すること。
- 5) 乱暴な、身体的または性的に挑発的なゲームなどに従事すること。
- 6) どのような形であれ、不適切な接触を許可または関与すること。
- 7) 選手に、不適切な冗談を許したり、「けんか」のような遊びを許すこと。
- 8) 選手に、例え冗談であっても性的に示唆するようなコメントをすること。
- 9) 故意的に選手を泣かせること。
- 10) 子どもからのまたは子どもに関する、虐待、精神的、肉体的な害、または悪い例といった申し立てを棄却して報告されずに記録されないままにすること。
- 11) 選手が自分達でできる事に過保護的なサポートをしてしまうこと。

II、選手の行動規範

クラブは、選手に以下のことを期待しています。

- 1) 秩序正しく自己コントロールして行動すること
- 2) 常に自身の能力を最大限に発揮し、チームの利益のために行動すること。
- 3) チームメイトや自チームのスタッフ、相手チームの選手、レフリーをリスペクトすること。
- 4) レフリーの指示に従い、ルールに従ってプレーすること。
- 5) 試合の勝敗に関わらず、礼儀正しく務めること。
(例:ゲームの終わりに対戦チームと審判と握手すること等)
- 6) 監督/コーチの指示に耳を傾けて対応すること。
- 7) SNSの使用については、責任をもって使用すること。
- 8) 活動で使用する(グラウンド、クラブハウス、スポンサーホテル施設、バスなど)場合は、利用時間や使用上の注意などを遵守し、備品、機器、設備等を丁寧に扱い利用すること。(施設の設備、備品等を損失させた場合は速やかにスタッフに申し出ること)
- 9) 自ら自チームを非難するような言葉や態度で行動しないこと。
- 10) 何らかの制裁を受けるような行為をした場合は、その制裁を受け入れること。

私は、ルールや方針に従わない場合、以下のアクションがクラブによって行われる可能性があることを理解しています。

- ・試合メンバーに入れない、または試合出場の停止。
- ・トレーニング、試合への遠征、トーナメントへのさらなる参加の停止。
- ・活動参加の一時的停止。
- ・手紙、電話あるいは直接の保護者との面談。
- ・退会処分。

Ⅲ、保護者の行動規範

クラブは、保護者の皆様に以下のことを期待しています。

- 1) 本クラブで子どもが活動するためにご住所、メールアドレス、緊急連絡用の電話番号に変更が生じた場合、必ず更新してください。
 - 2) 活動に参加する前に、子どもの健康、病気、または怪我などの変化が生じた場合クラブの担当スタッフに報告してください。
 - 3) ご自身の子どもや他の子どもたちに安全で楽しい経験を提供するために活動の助けとなるような情報や 心配な点などを共有してください。
 - 4) 子どもにプレッシャーをかけたり、やりたくないという活動には無理に参加させないでください。
 - 5) 練習と試合の前後に子どもを時間通りに送迎してください。子どもが練習や試合を早退する場合または保護者以外の大人の迎えがある場合には練習や試合が始まる前にコーチに知らせてください。
 - 6) 天候(気温)に適したウェアと用具(スパイクなど)を持っていることを確認してください。
 - 7) 子どもが活動に必要な食べ物と飲み物を持っていることを確認してください。
 - 8) ルールに従ってサッカーをするよう子どもを励まし、最善を尽くすということを求めてください。皆さん自身が常にレフリーとコーチをリスペクトし、選手にも同じことを勧めてください。
 - 9) 選手にプレーの指示をすることはお控えください。コーチは、子どもや他の子どもたちが楽しく前向きに学べる環境を提供するために試合と練習の各セッションの準備やコーチングに大きな配慮と努力をしていることを理解してください。保護者として、皆さんには次の権利があります。
- ・活動に参加している間、保護されていることを確認すること。
 - ・子どもに関する問題点や懸念点について通知を受けること。
 - ・子どもが負傷した場合に通知を受けること。

- ・面談で真摯なフィードバックを受けること。

私は、ルールや方針に従わない場合、クラブによって以下の判断が行われる可能性があることを理解しています

- ・この行動規範の違反には、担当コーチが直ちに対処します。継続的な懸念または違反により、皆さんの来場が若い選手たちに有害であるとみなされる場合、試合会場に来場しないよう求められることがあります。
- ・保護者が行動規範に違反し続けた場合、大変残念ですが最終的には、子どもに練習、イベント、またはクラブから去ることを本クラブが告げることになります。

(5) 試合と練習に関するガイドライン

本クラブの活動の中心には、試合と練習があり、そこでは、常に選手(子ども)たちの安心と安全が最大限確保されている状態を維持されるよう、関わる全てのスタッフが以下のことを確認しています。

- 1) サッカーの試合と練習に関わる全てのスタッフ、選手が、それぞれの立場の行動規範を理解し、クラブが目指す指導者像に署名している。
- 2) サッカーの試合或いは練習を始める前に、試合或いは練習の計画がある。
- 3) サッカーの試合や練習で選手と関わるスタッフは、クラブの目指す指導者像に逸脱することなくコーチングを行っている。
- 4) サッカーの試合や練習前に、活動中に起こりうるすべてのリスクを回避する手段や、実際にリスクが生じた際の対応の手順について、関係するスタッフと選手に伝達し、実行できる状態にしておく。
- 5) サッカーの試合や練習中にリスクが発生する可能性がある用具や機器、その他の物などが事前に取り除かれている。
- 6) サッカーの試合や練習中に用具や機器、その他の物などによるリスクを感じた場合には、すみやかに取り除くよう、事前に関係するスタッフに指示しておく。
- 7) サッカーの試合や練習後に未然に防げたリスクや実際に発生したリスクへの対応の結果を複数のスタッフで評価(選手の意見なども含む正確な事実関係を精査した上で)しダイレクターに報告。
- 8) ダイレクター報告された事項は、クラブ内で評価し、必要に応じて改善策や再発防止策等を協議した上で、共有すべき場合はクラブ内で承認された内容を、スタッフ、選手、保護者と共有する。
- 9) サッカーの大会に参加する場合は、以下の項目(これに限らない)をセーフガーディングポリシーに照らし合わせて検討し、参加可否を判断する。【大会のルール、スケジュール、対戦相手、ピッチ状態、宿泊施設、移動手段、周辺環境、試合会場の気候や地理条件、距離、参加者に課される義務、仲介人等の存在有無、等】
- 10) 初めての場所でサッカーの試合や練習を行う場合は、事前にその会場や周辺環境をセーフガーディングポリシーに従い調査し、活動中に起こりうるすべてのリスクを回避する手段や実際にリスク

が生じた際の対応の手順について、関係するスタッフ、選手、必要に応じて保護者に事前に伝達し、実行できる状態にしておく。

(6) 遠征の計画と実施に関するガイドライン

アウェイゲーム及び大会への遠征は、選手にとって安全で楽しいものであると同時に普段と違う環境や文化、関わる人々、さらには様々なサッカースタイルなどと触れることができる、選手の成長には欠かせない活動です。一方で、保護者にとっては、子どもが遠く離れた目の届かない場所で活動していることに対し、不安や心配を抱えることは当然です。その不安や心配をできるだけ緩和するためにも、事前の慎重な準備と潜在的なリスクに対する考慮を示すことは重要です。さらに、遠征に帯同するすべてのスタッフは、選手と自身を含めたすべてのメンバーが、安全に帰宅できるために、最大限の安全確保、事前準備、万が一事故などが発生した場合の適切な対処、対応に備える必要があります。

1) シーズン前の確認事項

指導者、スタッフ、保護者のセーフガーディングポリシーの説明や理解、スタッフの紹介、行動規範の確認と同意、通常の練習や試合、アウェイでの試合や大会への遠征などについての説明、相談窓口や報告ラインの説明などを行い、すべての内容に同意してもらい署名してもらう。

2) 遠征前の重要な確認事項

- ・遠征を計画する際に、以下の項目やその手順について考慮する。
- ・宿泊先、移動手段の手配は①大会指定の旅行業者による手配②仲介人が指定する旅行業者による手配③クラブ提携旅行業者による手配④担当スタッフによる手配（出発日時、集合場所、開催場所及び帰宅日時、大会・試合スケジュール、移動手段）など、必要な情報を記載した遠征案内を作成し、必要に応じて選手、保護者に提出。
- ・大会施設、設備環境、周辺環境（文化や宗教の違い、治安、災害リスク含む）、食事会場、ミーティングルーム、宿泊 部屋、救急対応、応急措置器具の有無、最寄病院の対応、保険、緊急時の連絡先、選手のアレルギーや体調等の確認。必要に応じて選手と保護者への説明会実施（行動規範、必要な衣類や用具等、遠征での目標、キャンセルポリシー、保護者の同意書等）。

3) 遠征中の必要な配慮事項

- ・グループミーティングやスタッフミーティングを毎日行うとともに何か心配事や質問を受ける機会を設ける。
- ・スタッフの携帯電話、WIFI 環境の確保、移動手段（バス、電車、レンタカー等）の確認、緊急連絡先リストの保持（クラブ、保護者、現地大会関係者等）。
- ・帰宅時、帰宅後、遠征後・帰宅時間が遅い場合、事前に保護者の送迎を依頼する。
- ・帰宅後の選手とスタッフの体調面、精神面の状況を把握し、必要に応じて対処する。
- ・次回の計画に活かすために、選手とスタッフからのフィードバックを受ける機会を設ける。

(7) 活動における移動に関するガイドライン

サッカー活動を行う際、移動がつきものです。自宅から或いは学校から会場まで、会場から自宅まで、自宅から遠征先、或いは集合場所まで、また移動方法も電車やバスといった公共交通機関だったり、自転車を使ったり、保護者に送迎してもらったりと、様々なケースが挙げられます。特に選手だけで移動する際には最大限安全を確保することが必要で、スタッフと保護者とで連携し、潜在的なリスクを限りなく排除しておくことが重要で、そのためには慎重な計画と準備が欠かせません。移動に関して以下の項目を考慮します。

- ・選手(子どもたち)による移動・試合会場或いは集合場所へ公共交通機関を使用して移動する場合、選手の移動手段、ルート、所用時間などの情報を保護者、担当スタッフと共有する。
- ・トラブル等で集合時間を過ぎてしまうことが分かった場合、速やかに担当スタッフへ連絡する。
- ・何らかの事故、トラブル等に巻き込まれた場合、速やかに保護者並びに担当スタッフへ連絡する。
- ・選手は移動中でも連絡ができる何らかの手段を持つておくこと。
- ・移動手段について、原則、ジュニアはバスか保護者による送迎とし、自転車は使用禁止とする。ジュニアユース、ユースは自転車も可とする。

1) チームバス・貸切バスによる移動

- ・遠征計画を立てる際、チームバスの使用可否を社内で確認し、運行計画を立てる。
- ・遠征計画では事務所前到着時間21:00を過ぎないように運行計画を立てる。
- ・日帰り遠征は東京、神奈川、埼玉、群馬、栃木、茨城の範囲以内とし、更には往復200kmを超過する場合は社員2名体制又はバス運転手を帯同させ、選手の安全性を重視する。
- ・合宿など遠方への遠征は運行計画(出発時間、試合会場駐車場有無、宿泊先駐車場有無、所用時間、ルート、休憩場所、現地出発時間、解散場所到着時間、解散場所駐車場有無、通行禁止等)を立てる。
- ・車内での選手の安全を確保するため、シートベルトは必ず装着させ、静かに過ごさせること。
- ・車内では基本的には飲食禁止ですが、お弁当や軽食などはやむを得ない時は担当スタッフの許可を受ければ飲食可能。※お菓子、ガムなどは禁止とする。
- ・車内への携帯電話の持ち込み可能ですが連絡ツールとしての利用に限る。※ゲームや動画視聴は禁止する。

2) 試合などに使う備品等の運搬

- ・試合会場や宿泊先に用意されている備品等を事前に把握し、遠征に持ち出す備品等を明確にしておく。

- ・移動中の安全確保を前提に、運搬方法を決定する。選手が手分けして運搬する場合、移動距離、移動手段、選手の体力的・精神的な負担を考慮した一人当たりの分量を担当スタッフが確認し、選手も了承の上、決定すること。

3) 社有車を利用の際は事前に運行の目的と行先を申請し、承認を得た上で運行する。運行の際は、「道路交通法」その他の関係法令に従って運転する。

- ・社有車を運転するスタッフは、事前に自身の健康状態の把握に努め、安全な運転ができないと判断する場合、或いは他スタッフから見て安全な運転ができない恐れがあると判断される場合は、運転しない。

- ・長距離の運転をする場合は、こまめに休息をとりながら運行すること

(8) 活動の情報発信に関するガイドライン(ソーシャルメディアの利用について)

選手(家族含む)やスタッフがプライベートでソーシャルメディアを利用する際の心構えと注意点

インターネット上で個人が自由に情報を発信し、交流できるソーシャルメディアは、便利なコミュニケーションツールであり、その発信内容がサッカーに関する情報であれば、画像や動画で試合や練習に関する最新情報をリアルタイムでやり取りできることで、自身のパフォーマンスの向上を目的とした分析や、チーム戦術などの分析にも使用することができ、選手にとっても指導者にとっても大変有効なツールとなります。しかし、その反面、使い方を間違えると、自身だけでなく、たとえ個人の立場で投稿したもので、自身が属するチームやクラブ、サッカー界全体にも大きな損害を与える可能性があります。テキストや画像、動画などの情報を誰でも簡単に投稿でき、リアルタイムで拡散する力が強いことから、選手や保護者、スタッフによる不適切な投稿や書き込みがきっかけで、情報漏洩やクラブの信用失墜、ブランド毀損などのトラブルにつながるリスクが潜んでいます。

1) 基本の心構え

- ・ソーシャルメディア上でも柏レイソルアカデミーに所属する選手(その保護者)、スタッフであるということを知覚し、柏レイソルアカデミーの行動規範を遵守し、良識ある者として節度ある態度で参加すること。

- ・投稿内容がクラブに与える影響について常に意識すること。機密情報やチーム内情報など、クラブの情報を SNS に投稿してはならない。投稿して良い情報は、公知になっている情報のみである。

2) 基本的な SNS 利用上の注意点

- ・さまざまな人に見られていることを意識するソーシャルメディアは、自分や友人たちだけの世界ではなく、インターネットを介して世界に向けて公開されており、可視化されていることを認識しなければならない。ソーシャルメディアは「公の場」であり、自分の投稿は世界中の人に見られていることを前提として利用すること。

- ・読み手に敬意を払う。世界には多種多様な価値観、文化があること、そして自身の投稿がグローバルに影響を与える可能性があることを常に意識すること。人種やジェンダーなどの多様性を尊重し、それらに関連した誹謗・中傷や、特定の個人への侮辱、猥褻な内容などを投稿してはならない。また、政治・宗教に関わる話題については、十分に配慮すること。
- ・プライバシーについて他者のプライバシーを尊重し、他者の氏名、住所、連絡先、写真など、コンテンツに含まれる個人情報の取り扱いには細心の注意を払うこと。断片的な情報をつなぎ合わせれば、やがては個人の全体像が明らかになる可能性があるため、たとえ些細なものでも本人の許可無く個人情報をインターネット上に開示してはならない。
- ・肖像権について 写真や動画を投稿する場合は、写っている人の肖像権に注意すること。ソーシャルメディアやインターネット上に情報を公開したくないという考えの人もいるため、投稿する前に、写っている人に掲載してよいかどうかの確認をとること。
- ・著作権について 他者のコンテンツは、その出所に帰属するものだと心得ること。画像をコピーしたり、再掲載することは著作権の侵害となる可能性があるため、注意すること。また、動画を編集して投稿する場合は、BGMなどの楽曲が著作権の侵害にあたらないかどうか確認すること。
- ・投稿したものは永遠に消えない 情報が一度インターネットで公開されると、コンテンツの一部を削除してもバックアップされている可能性があるため、完全に削除することはほぼ不可能である。それを十分に認識し、自身が掲載した内容に個人的に責任をもつこと。
- ・公開範囲について ソーシャルメディアには、コンテンツの公開範囲を限定する機能があるが、閲覧可能なユーザーがスクリーンショットを撮るなどして公開する可能性がある。また、ハンドルネームを使用している場合、本人が特定されてしまうケースもある。インターネット上で完全に匿名になることはほぼ不可能であることを意識すること。
- ・ログイン情報について 個人アカウントのユーザー名やパスワードは、友人や家族を含め誰にも教えてはならない。
- ・アカウント乗っ取りについて ソーシャルメディア上には、投稿にまぎれて「広告」が混在している。アカウントを乗っ取る悪質な広告もまれにあるため、むやみにクリックせずに内容を確認すること。万一乗っ取られてしまった場合は、すみやかにログインパスワードを変更すること。
- ・アカウントのセキュリティについて アカウントのセキュリティ機能を高めるために、二段階認証機能の利用を推奨する。これは、登録しているパスワード以外にセキュリティコードやログインコードを設定することで、セキュリティを強化する機能である。二段階認証機能を設定しておくことで、アカウント乗っ取りを防止するほか、他者がログインすると通知が来るため、アカウントが乗っ取られた場合はすぐに被害に気付くことができる。

3) クラブの情報を扱う際の注意点

- ・投稿可能な範囲として投稿できるのは、Web サイトや発表資料、刊行物などで公知になっている情報や、イベントなどに関する告知済みの情報である。また、柏レイソルやそのステークホルダーや競合企業について、誹謗、中傷する内容を投稿してはならない。チーム内のスタッフや仲間に対する愚痴や、対戦相手や試合関係者の情報なども漏らしてはならない。

・身元や責任の所在を明らかにする上記の範囲で、柏レイソルに関連する事柄について投稿する際には、プロフィール欄に身元(氏名、所属名)を明らかにすること。また、コメントを投稿する際には、あくまでも個人の見解や意見であることを明確にし、柏レイソルの公式見解・意見であると誤解されないようにすること。

・機密情報の管理として柏レイソルおよび他チームの機密情報については一切言及してはならない。例えば、業績、事業計画、将来展望などの未発表情報について言及したり、憶測を述べてはならない。これは個人的な見解を述べる場合でも同様である。また、噂や憶測と思われる会話への参加も控えること。

・機密情報漏洩防止策として家庭内の会話 家庭内でクラブの機密情報を話してはならない。機密情報を家族に話すと、それを聞いた家族が口外禁止であることを意識しないままソーシャルメディアに投稿してしまう恐れがある。特に子どもはインターネットやソーシャルメディアの危険性を十分に理解していないため、注意が必要である。

・位置情報の設定としてソーシャルメディアは、GPS 機能を利用した位置情報をつけることができるため、位置情報の設定をオフにするなどの対策をすること。投稿の内容に問題がなくても、投稿に紐づいた位置情報から情報が特定されてしまうこともある。また、写真のデータ自体に位置情報が記録される場合もあるため、注意すること。

・スマートフォンなどのデバイス操作や設定としてスマートフォンには、撮影した写真を簡単に共有する設定があり、誤作動や故障などが原因でカメラアプリやソーシャルメディアアプリが起動し、知らない情報が漏洩する可能性がある。そのため、操作や設定などに注意すること。

・柏レイソルロゴや本クラブロゴ商標を使用しないこと。

4) ソーシャルメディアにおける緊急事態への対応

・アカウントがハッキング被害を受けたり、プライベートの情報が流出するなどして、選手やスタッフ又はクラブに被害がおよぶ可能性が生じたときのために、緊急時対応として以下の点を心得ておくこと。

・ソーシャルメディアなどインターネット上で他者と衝突した際は、さらなる炎上を防ぐため、反論や弁明などの追加の投稿は控えること。

・クラブに影響を与えてしまいそうな場合は、すみやかに必ず担当コーチに相談すること。

・ビジネスアカウント(柏レイソル AA 長生オフィシャルホームページ、ツイッター、ユーチューブ)

5) ビジネスアカウント運営の目的

・ソーシャルメディアを通じ、柏レイソル AA 長生情報を発信し、ユーザーとのコミュニケーションを心がけ、柏レイソル AA 長生のブランド価値を高め社会から信頼されるチームになることを目指す。

※ビジネスアカウントでの注意事項

・公開前情報及び社内情報を発信してはならない。

- ・投稿したコンテンツが、柏レイソルから発信されたものだとわかるように明示すること。
- ・身分を偽ってはならない。
- ・誤った情報を発信したり、誤解を与える表現を行ったりした場合は速やかにお詫びと訂正を行うこと。
- ・アカウントの担当者やクラブにとって不利になりそうな事実や情報を隠す目的で、投稿やコメントを隠蔽、削除、改ざんしてはならない。このような行為は、透明性を確保するというクラブのポリシーに反する上に、問題を悪化させる恐れがある。
- ・競合企業の不利益となる情報の発信、風説を流布してはならない。また、社外に公開されていない情報が流出しないように厳格に管理すること。

※ソーシャルメディアにおける緊急事態への対応

- ・ソーシャルメディアにおいて緊急事態が発生した場合（否定的なコメントが殺到する「炎上」やネット上の騒ぎなど）、冷静かつ理性的に事態の把握につとめること。
- ・否定的なコメントでも慌てて削除せず、また、事態をもみ消すような行為は避けること。
- ・否定的なコメントがあった場合、内容をよく吟味して、それがクラブの広報活動にとって何を意味するのかを理解すること。安易にビジネスアカウントの削除や停止はしないこと。
- ・ソーシャルメディア上での問題が悪化する恐れがある場合や、トラブルが長期化しそうな場合は、クラブへ連絡すること。

6) 18歳未満の選手の画像の安全使用について

選手が本クラブに加入した際、選手と保護者が参加するクラブの説明会において、規約の説明とともに、以下のような目的のために選手の写真や動画を撮影する、またはその画像や動画をソーシャルメディアやインターネット上、出版物等へ掲載する必要があることを説明し、同意を得る。

- ・パフォーマンス向上のためのビデオ撮影（試合、イベント）についてのメディア掲載。
- ・クラブのホームページやビジネスアカウント又は出版等、広報やプロモーション目的での利用。
- ・出場した大会の広報やプロモーション目的での利用。
- ・安全な撮影環境の確保。
- ・選手を撮影する際、事前にその撮影計画を確認する。
- ・選手を撮影する際、少なくとも1名以上のスタッフが撮影に同席する。
- ・更衣室は撮影禁止とする。
- ・撮影する場合、品位を欠く方法での撮影は行わない。また、メディアやSNSに登場するすべての人の服装が適切であることをスタッフは確認する。

※ソーシャルメディアを利用した連絡方法について

- ・担当コーチから各々のカテゴリーに所属する選手や保護者に対する連絡手段として、携帯電話やソーシャルメディア(ライン等)を利用することができる。
- ・連絡手段としてソーシャルメディア(ライン等)を利用する際は、原則としてカテゴリー内の選手、及び保護者が全員同様の手段で担当コーチとコミュニケーションをとれるようにすること。一人でも同様の手段で連絡をとることができない選手又は保護者がいる場合、担当コーチは他の選手又は保護者と遅滞なく連絡が取れる手段を確保し、一人でも情動的差別が生じないように十分な配慮をすること。
- ・選手や保護者とのソーシャルメディアでの私用な利用は厳禁とする。

(9)その他相談窓口

選手や保護者がアカデミー活動に関する不明な点や不安・心配事等がある場合は、原則、担当コーチが相談窓口となる。また、担当コーチに相談しにくい場合や誰に相談したらよいか不明な場合、ダイレクター:(鈴木) 又は、代表者(木島)が窓口となる。

○ダイレクター(スズキ) 電話番号:090-8003-2802

○代表(キジマ) 電話番号:090-6709-2136

JFA では、サッカー活動現場における組織的または個人的な暴力行為の早期発見と是正および再発防止に努めることを目的に、「暴力等根絶相談窓口」を設置している。

○設置場所: JFA 管理部内 電話番号: 050-2018-1990

(10). 用具

① 貸与品

貸与されたユニフォームは、選手各自で責任をもって大切に管理します。原則、貸与したユニフォームは活動中の破損、汚れについては交換補償しておりますが、紛失の場合には弁償額として以下の金額を納めなければならない。

ユニフォーム H&A ウェア/各15000円(税込)・ユニフォームパンツ/各5000円(税込)

② 指定ウェア

本クラブでは活動中に限り、指定のウェアの着用が義務付けられています。指定ウェアにつきましては Sgrum 物販販売にてご購入可能です。

③ 移動時のウェア

本クラブでは遠征、合宿時の移動中も活動内となりますので指定ウェア着用が義務付けられています。

(11) バス利用

① 送迎バス(平日)

平日バスご利用希望の方は3月末にバス利用届のご提出をお願いします。途中入会の方でバスをご利用希望の方につきましては担当コーチまで申し出てください。また新規でバス停留所設置をしてほしいなどの希望につきましても担当コーチまでお申し出ください。

② 送迎バス(祝祭日、土日)

・祝祭日土日送迎バスをご利用希望の方につきましては以下の通りです。

ジュニアユース

ホーム・アウェイに限らず、トレーニング、トレーニングマッチにおいても事務所前、茂原駅停留所より送迎バスはご利用頂けます。

ジュニア

遠征時のみ運行します。

ホームグラウンドでのトレーニング、トレーニングマッチはバス運行しません。

③ バスご利用の際の注意点

送迎バスは定刻を過ぎますと出発致しますので、店舗内や自家用車内で待たずに5分前には停留所で待つようにしてください。

◎平日バス送迎について

・方面別グループ LINE 登録をお願いします。詳細は担当コーチまで

・グループ LINE は渋滞遅延などのバス運転手との連絡ツールとなります。乗車しない場合などの連絡はグループ LINE でご報告ください。

・乗車前、下車後の事故につきましては一切の責任を負えません。何らかの理由で選手が一人になってしまう場合は担当スタッフもしくは方面別グループ LINE へご報告ください。

◎土日祝祭日バス送迎について

・カテゴリー別グループ LINE 登録をお願いします。詳細は担当コーチまで

・グループ LINE は渋滞遅延などのバス運転手との連絡ツールとなります。乗車しない場合などの連絡はグループ LINE でご報告ください。

・乗車前、下車後の事故につきましては一切の責任を負えません。何らかの理由で選手が一人になってしまう場合は担当スタッフもしくは方面別グループ LINE へご報告ください。

(12) グループ LINE について

本クラブでは連絡ツールとしてアプリケーション Sgrum、LINE を利用し、保護者及び選手との連絡を取り合っております。また、グループ LINE 登録は必須で所属するグループへの参加をお願いします。

- ・Sgrum:スケジュール確認、前日までのお休み連絡、クラブからのお知らせとして利用。
- ・LINE: 当日のお休み連絡や緊急時の連絡ツールとして利用。
- ・以下の対象グループへの参加をお願いします。

◎カテゴリー別グループ LINE

- ・キッズスクールグループ LINE ・U-7.8 スクールグループ LINE ・U-9.10 スクールグループ LINE
- ・U-11.12 スクールグループ LINE ・U-7アドバンスグループ LINE ・U-8 アドバンスグループ LINE
- ・U-9 選手コースグループ LINE ・U-10 選手コースグループ LINE ・U-11 選手コースグループ LINE
- ・U-12 選手コースグループ LINE ・U-13 Jr ユースグループ LINE ・U-14 Jr ユースグループ LINE
- ・U-15 Jr ユースグループ LINE

◎平日送迎バス方面別グループ LINE

- ・茂原方面グループ LINE ・勝浦方面グループ LINE ・大原/一宮方面グループ LINE
- ・大網土気方面グループ LINE ・八日市場方面グループ LINE

(13) カネイ総合グラウンドに関するガイドライン

カネイ総合グラウンド使用上の注意点について

- ① クラブハウス前の足洗場や敷設マット等により、シューズの土や泥等を十分に落とすとともに、身体についている土等も必ず掃ってから入場してください。身体やシューズに付いた「ゴムチップ」を掃ってから退場してください。
- ② 金属製スパイク、ハイヒール、その他人工芝を傷める恐れのある用具等の使用は禁止します。火気使用も厳禁です。
- ③ タープ、テント類を設置する際、ペグ等を使用して固定することは禁止します。タープ・テント類の設置は必要最小限とし、設置に当たっては人工芝を傷めないよう細心の注意を払ってください。
- ④ 重量物(タープ等を除く。)持込み、設置は禁止します。また、必要なもの以外はグラウンド内に持ち込まないでください。

- ⑤ 人工芝を汚すことになるので、原則として、グラウンド内での飲食は禁止します。
- ・水分補給のための飲料水は「水またはお茶」としてください。(スポーツドリンク、ジュース等の飲料水はグラウンド外で飲用してください。)
 - ・グラウンド内での食事禁止。
 - ・ガム、あめなども禁止。
- ⑥ ゴミ等は、必ずお持ち帰りください。
- ⑦新型コロナウイルス感染症対策とし、活動見学の有無を担当コーチにご確認の上ご来場ください。

平日の駐車場利用について

月曜日 ジュニアユース保護者見学可能及び駐車場優先使用

火曜日 U-9, 10選手コース / U-9, 10スクールコース 保護者見学可能及び駐車場優先使用

水曜日 U-7, 8アドバンスコース / U-7, 8スクールコース 保護者見学可能及び駐車場優先使用

木曜日 U-11, 12選手コース / U-11, 12スクールコース 保護者見学可能及び駐車場優先使用

金曜日 U-7, 8アドバンスコース / U-7, 8スクールコース 保護者見学可能及び駐車場優先使用

◎土日のグラウンド内見学及び駐車場制限につきましてはその都度変更がございますので各カテゴリー担当者よりご連絡差し上げます。

(14) 各グラウンドからの緊急避難場所に関するガイドライン

対象:カネイ総合グラウンド

活動中の地震により津波警報が発令した場合は白子ニューシーサイドホテル(津波 緊急避難ビル)へ避難する。

※避難の際は担当スタッフの指示に従い、徒歩で移動。

※バスが準備されている場合はバスで移動。

対象:萱場グラウンド

活動中の地震により津波警報が発令した場合は萱場大村集会所へ避難する。

※避難の際は担当スタッフの指示に従い、徒歩で移動。

※バスが準備されている場合はバスで移動。

対象:カネイ体育館

活動中の地震により津波警報が発令した場合は一松北部コミュニティセンターへ避難する。

※避難の際は担当スタッフの指示に従い、徒歩で移動。

バス送迎中の避難場所について

送迎バス利用時、地震により津波警報が発令した場合は尼ヶ台公園へ避難する。

◎ 避難の際はグループ LINE、Sgrum にてお知らせ致します。通信障害等で連絡が取れない場合も予想されますが上記の避難場所へ円滑に誘導致しますのでご安心ください。

(15) 普通救命(AED 心肺蘇生法、気道異物除去法、止血法)について

例年、本クラブでは普通救命講習(心肺蘇生法、気道異物除去法、止血法など)を長生郡市内消防署にて受講しております。2020~2021 年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止されておりましたので再開次第受講を考えております。

(16) 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について

全社員全員2回目のワクチン接種を完了しております。